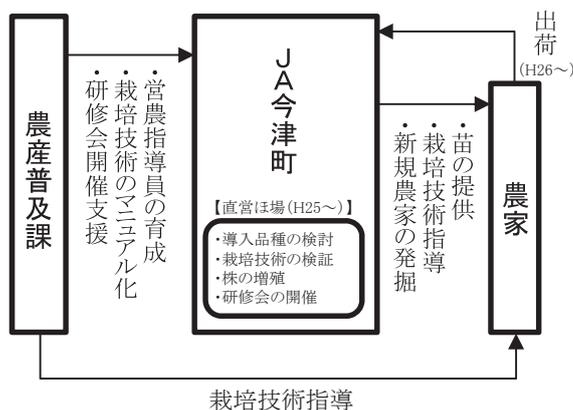


JA今津町における 短茎小菊の産地化支援

高島農業農村振興事務所農産普及課

【普及活動のねらい・対象】

JA今津町が、地域の新しい特産品として、本年度から短茎小菊を導入されることとなりました。導入初年目であることから、「導入品種の選定」、「栽培技術の検証」、「株の増殖」等を目的に、JA直営の実証ほを設け、次年度以降に農家へ普及して面積拡大を目指されます。そこで、当課として本年度は、「JA営農指導員の育成」、「産地化に向けた新規農家の発掘」および「栽培技術のマニュアル化」の3点について支援しました。



【普及活動の内容】

栽培に入る前に、JA営農指導員と導入品種、省力的な作業体系、コスト計算等について検討を重ねました。実証ほでは、省力化はもちろん、各作業工程をチェックし、課題の抽出と対策案を提示しました。

また、他産地や先進農家の視察、出荷先等との情報交換の場をできるだけ多く設定することで、JA営農指導員の栽培技術の向上と出荷品質の安定化を目指しました。

一方、JA実証ほでの現地研修会や各種会合等を活用して、次年度以降の新規農家の募集活動を支援しました。



【普及活動の成果】

本年度の出荷本数は約55,000本となり、目標（30,000本）を大きく上回りました。一方、労働時間は計画を大きく上回ったことから、作業体系を見直すとともにこれをマニュアル化し、次年度以降、農家とJA営農指導員が共通認識を持って取り組めるようにしました。

また、次年度、5戸の農家が約15畝で短茎小菊を新たに作付けされることから、今後は、JA営農指導員とともに現地研修会等を開催して、栽培農家のさらなる拡大と栽培技術の安定化を図っていく予定です。